

## はじめに

札幌市は、現在北方圏の拠点都市を目指し更に成長を続けておりますが、このような都市化進展の中にあつて、本市が自然に恵まれた安全で健康的な理想都市として何時までも誇り得るよう、私共は保健衛生、食品衛生、公害防止等の行政の一翼を担いつつ、科学的な行政サービスの向上を目指して日夜努力を重ねている所であります。

特に、近年は行政需要の多様化傾向が著しく研究所としてこれ等に対応して行くための努力には並々ならぬものがあると感じている次第です。

こうした日常の実務を通じて得られた数々の貴重な経験や実績並びに研究等は、私共の将来の成長発展のための得難い資料となる事は言うまでもありませんが、ここに所報第4号（昭和51年版）を刊行するに当り、当所の現況紹介と共に、これ等資料の中から、未熟ではありますが、基礎的・一般的な研究結果のいくつかを掲載致しましたので、ご高覧、ご批判頂ければ幸いです。

昭和52年4月1日

札幌市衛生研究所

所長 池田孝三